



月刊・伊藤ひろたかの 1分でわかる市政レポート

今月は防災のお話です

横横浜市議員の伊藤です。6月に配布しました市政レポートはいかがだったでしょうか。今月は防災についてです。

関東大震災クラスの首都圏直下型大地震が発生する確率は今後30年で70%、50年以内に90%と言われています。「備えあれば、憂いなし」。危機管理は平時の準備こそが重要です。

その認識から生活安全・危機管理・消防・情報化社会特別委員会に所属しました。6月に緑区で開催した各連合自治会単位の懇談会でも防災備蓄に対する不安の声が挙がっていました。

グラグラッ。 その時、あなたは??

「まさか自分たちの地域で発生するとは思っていなかった」。新潟県の中越地震をはじめ、近年日本各地で大地震が発生しています。

中越地震を経験した前小千谷市長の関氏によると、これまでも色々と防災訓練をしていたものの、ほとんど役に立たなかったそうです。訓練していても混乱するわけですから、訓練していないと大変な事態を招きます。

そこで市民のみなさまに質問です。大地震が発生した時、どこに避難するのか、ご存知

でしょうか？

まずは近所の公園など広くて安全な場所に逃げて下さい。家屋が倒壊するなど自宅に戻れない場合に地域防災拠点に移動します。食料や水などの救援物資支給場所にもなっています。緑区の場合、全小学校に加えて、東鴨居中と鴨居中、中山中、十日市場中、田奈中が地域防災拠点となっています。詳しくは (<http://www.city.yokohama.jp/me/anzen/saikatsu/hinanba/midori.html>) をご覧下さい。

地域防災拠点には、1人1食分の食料などが備蓄してあります。このほかに区役所や方面別に防災品の備えがあります。これだけでは足りませんので、業者と協定を結んだ流通備蓄もあります。横浜市は市民の皆さまに各ご家庭で3日分の食料を備蓄することを推奨しています。

トイレやおむつはどうするのか、感染症対策は万全なのか、市民への情報提供はどうなのか、避難所は足りているのか、など知りたいことはいっぱいあると思います。

市民の皆さまに変わって、こうした点をしっかりと問いただし、改善点があれば議会などで質問していくのが私たち市議員の役割です。

1ヶ月前ほど前、新聞紙面に「東京都、86万人分の避難場所が不足」という記事が掲載されていました。では、横浜市はどうなっているのでしょうか？早速、内閣府の発表資料を取り寄せ、調べてみると……。なんと、横浜市は避難場所の過不足を把握していないと

国に対して回答していました。

安全管理局に対して、私は「小学校と中学校の体育館の延べ床面積と、これに教室を加えた場合の延べ床面積を早急に計算してほしい」と要望しました。

その結果、6月18日に再回答がありました。横浜市は50万人の被災者を想定していますが、体育館だけでは対応しきれないことが判明。教室を含めれば、十分に対応できますが、よその自治体の事例を見ていますと、教室は学校運営上使えないことが多いようです。

避難場所の確保は市民の皆さまにとっても非常に重要な話なので、この件は引き続き調査し、場合によっては議会で質問していく考えです。市民のみなさまにも今後の市政レポートやホームページ、街頭演説を通じてお知らせ致します。

市政報告会、開催しました

6月23日(土)「第1回 伊藤ひろたかのとっても分かりやすい市政報告会」を開催しました。30代の方を中心に10名超の参加がありました。今回は議会の様子や市会議員は普段何をしているのか、5月議会などについてお話ししました。

市会議員の仕事は一般に知られていないため、報告会は概ね好評だったようです。参加者からも数多くの質問があり、ざっくばらんに話ができて、予想以上に活発な意見交流会

プロフィール

1996年 私立駒場東邦高校卒業
2000年 早稲田大学理工学部卒業
2002年 早稲田大学大学院理工学研究科修了
2006年末 日経BP社(記者)を退社
2007年 横浜市議会選挙に当選
現在、1期目



となりました。保育園の体制やゴミ回収、教育のあり方、条例提案、財政など質問は多岐にわたりました。

次回、開催予定は8月25日(土)です。場所は今回と同様、中山地区センター。市民のみなさまのご参加を心よりお待ちしております。ちょっとだけ勇気を出して、参加してみませんか？

お知らせ

盛況のうちに記念すべき第1回目の市政報告会が終わりました。「第2回 伊藤ひろたかのとっても分かりやすい市政報告会」の開催は8月下旬を予定しております。テーマは、「お金」、政務調査費の扱いなど、議員の財布はどうなっているのかを解説します。気軽にご参加下さい。

日時 : 2007年8月25日(土) 13時~
場所 : 中山地区センター
定員 : 20名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)
連絡先 : voice@hiro-chan.net

発行 : 横浜市議員 伊藤ひろたか
〒226-0003 緑区鴨居3-3-2 川端ビル1F

Tel & Fax : 045-935-7850

HP : <http://hiro-chan.net/>

ピラの配布などボランティア・スタッフを募集しています！！